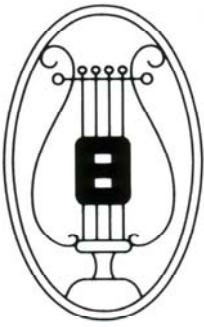


平成31年4月1日



# 平成31年度(2019) 学校法人 三浦学園 日本音楽高等学校 学校経営方針

校長 菊本和仁

・・・知性と芸術の融合を目指して = **Intellect&Art** = ・・・

専任教員と職員や各コースの講師とともに日音の教育を推進する

## 1 建学の精神 教育理念

「愛と和と誠実」	愛	いたわりの心
	和	連携と協調の心
	誠実	真摯に学ぶ心

## 2 教育目標

- (1) 礼節を重んじ、規則正しい生活習慣の確立と道徳心や倫理観を高める能力を育成する。
- (2) 豊かな知性と優雅な品性を備え、基礎学力をつけ、課題解決に果敢に取り組む能力を育てる。
- (3) 心身ともに健康で、奉仕の精神を進んで養う能力を育成する。

## 3 目指す生徒像 (心構えやルール等、コース別に生徒用を作成：4月当初配布)

- (1) 自ら進んで学び、将来の夢に向かって、よき友と共に学び技を磨く生徒
- (2) 思いやりの心を大切にして、品格があり、自分の行動に責任を持つ生徒
- (3) 心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦して成し遂げる生徒

## 4 目指す教師像

- (1) 教育に対する熱意と使命感をもつ教師  
各コースの目標を目指す生徒への深い愛情  
日音の教育者としての責任感と誇り  
人権を尊重した高い倫理観と社会的常識
- (2) 豊かな人間性と思いやりのある教師  
品格があり、温かい心を持ち、柔軟な発想や思考をもつ  
幅広いコミュニケーション能力をもつ
- (3) 生徒の良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師  
一人ひとりのよさや可能性を見抜く力  
教科や専門・専攻に関する高い指導力  
日々自己研鑽に励む力
- (4) 組織としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師  
より高い目標にチャレンジする意欲  
若手教員を育てる力  
学校経営参加への意欲

## 5 目指す学校像と具体策

### (1) 一人一人の生徒を大切に作る学校

- ①生徒一人一人が規範意識を持ち、安心して学習や学校生活を送れるようにする。
- ②コースの交流を大切にして、個々の違いやよさを認め、いじめや不登校をなくす。
- ③教職員や専門分野の講師が積極的に生徒と関わり、情熱を傾けた教育を実践する。

### (2) 教育活動が充実した学校

- ①確かな学力を身に付けさせると共に幼児教育の実践や芸術面での技能・表現の能力の向上を図る。(知性と芸術の融合) ※学校行事は、レッスンや授業の集大成
- ②各教科、特別活動、総合的な探求の時間(サウト・オブ・ミュージック・レポート)の充実を図る。
- ③音楽科の女子校として校内が清潔であり、整理整頓されていて、掲示物等が充実していて学習したくなるような環境へと整える。

### (3) 父母と教師の会・卒業生・地域や併設校とともにつくる学校

- ①保護者や地域へ積極的な公開と情報発信をして、信頼と協力が得られるようにする。
- ②地域の行事に積極的に参加するとともに、各コースの教育に外部人材を活用する。
- ③併設の幼稚園・保育園や有明教育芸術短大との計画的に連携を推進する。
- ④東京都私立中・高等学校協会第七支部の副支部長校として、次年度(2020年度)の支部長校の運営に向け、学校体勢を整えるとともに父母の会との連携を密にしながら引き継ぎを図る。

## 6 学校経営方針とその方策

建学の精神「愛と和と誠実」と目指す「知性と芸術の融合」に基づき、本校の良き歴史と伝統を継承・発展させ、生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図るとともに全教育活動を通して、表現力豊かで心優しく社会貢献のできる生徒を育成する。教育目標を達成するために、下記の学校経営方針のもと、全教職員と講師が協力し全力で取り組む。

### (1) 生徒募集への全教職員による積極的な取り組み

- ①5ヶ年計画で定員100名の生徒の入学を実現するために、募集対策委員会をさらに充実させ、全教職員が常に協力しながらすべての募集関連の業務を行う。
- ②本校の教育内容の特色や魅力、教育実績等を広く伝えることにより認知度を上げる。
  - ・学校説明会や体験入学を充実させるとともに学校案内の改編を行い、中学生やその保護者へ本校の魅力や特色を伝える。
  - ・募集対策委員会で、近隣区・他区部・市部・神奈川・千葉・埼玉等の分担を決め、確実に複数回訪問を強化する。また、全教職員で中学校、塾、劇団、バレエ教室への訪問と私学中高協会等の説明会に参加し、学校説明会や体験入学に繋げる。
  - ・学校案内のリニューアルとホームページの日々の更新、学校だより等を充実させ、本校の情報発信を確実にを行う。
  - ・学校説明会で各コースの発表会を行い、本校の教育内容の魅力や特色を中学生・保護者・進路関係者に伝える。また、その際、社会で活躍する卒業生に依頼する。
  - ・近隣区中学校のPTA活動や音楽関連の行事など、本校の教育活動の支障のない範囲で施設・設備を活用してもらい、多くの中学生やその保護者に本校を知ってもらう機会を作る。
  - ・2020年のオリンピック・パラリンピックに向けての地域行事に積極的に参加するとともに地域の小中学校、音楽関係の行事、地域清掃活動、児童センター、商店街等との連携等により、生徒の活動を積極的に行う。

## (2) 豊かな人間性の育成

- ① 基本的な生活習慣の確立をする。  
生活目標（あ：挨拶・じ：時間・み：身だしなみ・こ：言葉遣い・し：姿勢）を普段から実践させ、確実に身に付けさせる。年度の強化項目を設ける。
- ② 生命尊重と人権尊重教育を推進する。  
人権尊重教育の推進→教員の人権意識向上と生徒への人権尊重教育を行い、いじめの撲滅と生徒の復帰を支援する。
- ③ 女子校らしい清潔で安全な校内外の美化に努めるとともに、観葉植物や花々、絵や書、教育情報などの掲示物や展示等、校舎内・校庭・学生会館等の教育環境を充実させる。
- ④ 健全育成を推進する。
  - ・生活指導に関しては、生徒手帳の生徒心得を遵守させる。
  - ・問題行動に対する迅速で的確な対応→報告・連絡・相談・調整・理解の徹底
  - ・日音の教員としての自覚をもち、共通実践と共通行動で生徒指導に対応し、保護者への理解・協力を求めるとともに生活指導は全校態勢で行う。
  - ・校内外の研修で全教員がカウンセリング力を身につけ、一人ひとりの生徒を大切に、生徒指導や教育相談を充実させる。また、情報を共有して生徒指導部や養護教諭を中心に学年・担任との連携を図る。
  - ・「心とからだの健康アンケート」を年2回実施し、分析・考察して生活指導・保護者への啓発に活かす。
- ⑤ 社会貢献の精神を育成する。
  - ・生徒会活動を充実させ、ボランティア活動や清掃活動等の充実を図る。
  - ・各行事において社会的なルールやマナーを習得させる。
  - ・防災や環境問題・リサイクル等に関する意識を向上させる。

## (3) 確かな学力の向上（一般教科・コースの専門教科や専攻）

### <一般教科>

- ① 一般教科の基礎学力の向上と生徒の学習意欲向上を目指し、各教科の授業改善・家庭学習（復習・予習）の充実・定期的な補習・長期休業中の補習を実施する。
- ② 各教科シラバスに基づき、年間指導計画や評価計画、評価資料、通知表の工夫と改善を図り、指導と評価の一体化を図る。
- ③ 朝読書・朝学習（試験前の対策）を充実させる。また、図書を充実させ図書館のさらなる活用を推進する。
- ④ 廊下壁面ボードや階段を活用して教科に関することや高校生新聞・英字新聞等を掲示することにより学習環境の充実を図る。
- ⑤ 新学習指導要領の実施に向けて、各教科とも知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となる言語活動の充実を図る。
- ⑥ 希望の進路の実現を目指し、計画的な各種検定合格の講座・受験対策講座を行う。
- ⑦ 英語科内においても将来に役立つ英会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けさせる。

### <コースごとの実技専攻・専門教科>

- ① 各コースごとに一人ひとりの生徒の技能や表現の向上を目指し、指導の工夫改善や講師陣との連携を図る。
- ② 実技の技能・表現の向上を目指して、生徒が朝・昼・放課後等の日々の自主練習を意欲的に進められるよう促す。
- ③ 各コースの著名な講師を招聘しての特別レッスンや特別講座をさらに充実させ、生徒の実技の表現と技能の向上を図る。
- ④ 系統的な計画により、本校の特色である総合的な探求の時間（サウンド・オブ・ミュージックやレポート発表）を充実させ、様々な能力の伸長を図る。

## (4) 豊かな個性と創造力の伸長

- ① 生徒全員の「18の春」を目指し、3年間の計画的なキャリア教育の充実を図る。
- ② 生徒の能力を伸ばし、その能力を活かせる個に応じた丁寧な進路指導を行う。
- ③ 全教員が顧問となり、部活動（運動部・文化部）の活性化を図る。コンテストやコンクールに積極的に参加して、その成果を残す。
- ④ 舞台芸術の鑑賞等、文化的な活動を充実させ、生徒の感性を高めるとともに豊かな情操を育む。

## (5) 学校運営体制の強化

- ①校長の学校経営方針に基づき、教頭・副教頭・学年主任・各コース長が組織を活性化して学校運営を行う。(毎朝の打合せ内容の確実な周知)
- ②月ごとに、全校朝礼・学年集会・コース集会を設定して、生徒の自主的な運営をする力を育てるとともに、学校生活や行事に積極的に向かう意識づけを行う。
- ③中長期的な学校運営体勢を考え、教員・講師の高齢化に伴い、若手教員の育成ならびに主任を引き継げるミドルリーダーの育成を図る。  
また、各コースにおいて退職する実技講師の指導を引き継げる新たな人材を確保する。
- ④教員の教育相談やカウンセリング能力を向上させ、コースごとの中途退学者や他校への転出生徒を減らす。
- ⑤学園運営委員会・高校学園運営委員会を充実させ、確実な学校運営体制を確立する。
- ⑥校務分掌の各主任や各コース長は業務内容を明らかにして、教職員がそれぞれの責任を果たす。
- ⑦日々の生活指導や教育活動に関して、報告・連絡・相談・調整・理解の基本を大切にしてい、相互理解を図るとともに共通実践を行う。
- ⑧安全管理・危機管理は未然防止・早期発見・早期解決を目指す。
- ⑨教員会をはじめとして各会議は、事前に内容を高校運営委員会で検討して効率的に行い、理事長ならびに事務局長へ報告する。
- ⑩ICT支援システムの活用と教育機器の積極的な活用を図る。
- ⑪食物アレルギーについての知識・理解を深める指導を行うとともに、生徒の食物アレルギーの実態を把握し、状況把握・緊急体制について情報を共有して対応する。
- ⑫進路については、進路指導部長を中心として、3年間を見通したキャリア教育を行う。「卒業生から話を聞く会」や「進路体験報告会」をさらに充実させる。  
また、大学・短大・専門学校・留学に関する機関等を呼んでの進路説明会の充実を図る。
- ⑬1年の段階から生徒・保護者への「推薦基準の内規」の徹底を図り、全教員の理解のもと推進する。
- ⑭キャリア教育や生徒の進路に向け、日々の生活の自己管理能力を育成するために、一昨年度や昨年度の反省を生かして自己管理ノート『フォーサイト』を更なる活用を図る。

## (6) 開かれた学校づくり

- ①学校教育情報の積極的な配信を行う。
  - ・日音のホームページをさらに充実させ、スピード感ある魅力的な情報発信を行う。
  - ・校内外の掲示板の活用・雑誌へのコマーシャル等、学校公開の内容を充実させる。
  - ・学校だより・学年だより・コースだより・保健だよりを定期的に発行する。
- ②併設する幼稚園・保育園・有明教育芸術短期大学との積極的な連携を推進する。
- ③学校運営連絡協議会を行い、情報提供や学校評価を充実させる。
  - ・学校運営連絡協議会において意見交換を行い、募集に繋がる内容や関係者評価を効果的に実施して、学校経営の充実改善を図る。
- ④父母と教師の会の活性化を図る。
  - ・保護者の学校行事への積極的な協力と参加を図る。保護者に一人一役の役割をもっていただき、生徒たちのために各委員会活動を活性化するとともに日音祭や卒業対策等を充実させる。
  - ・2020年度の東京都私学中学高等学校協会第7支部会支部長校に向けて、組織づくりと協力体制を確立する。
- ⑤地域コミュニティとしての学校づくりを目指す。
  - ・近隣区中学校のPTA活動や音楽関連の行事など、本校の教育活動の支障のない範囲で施設・設備を活用(使用料の減免措置)してもらい、多くの生徒や保護者に本校を知ってもらう機会を作る。
- ⑥地域の行事に積極的に参加する。
  - ・地域の催し物や地域のボランティア活動に生徒会を中心に企画し、社会貢献する。

## (7) 教員の資質向上

- ① 教員会の前に校長が講師となり、30分間の教育課題に沿った校内研修を行う。
- ② 校長と教頭が、日々の授業を参観するとともに年3回の自己申告書の面接を実施し、自己の課題を明確にして学校経営の参画意識をもって行動するとともに教員の能力開発と業績評価を行う。
- ③ 各コース主任は、日々の教育活動を通して授業力の向上や各分掌を通じて若手教員の育成を図る。
- ④ 学期ごとに一般教科と専門教科の研究授業を行い、授業力向上を図る。
- ⑤ 年2回7月と12月に生徒による授業評価を行い、PDCAサイクルで各教科の授業改善を図る。
- ⑥ 教員会や校内研修(校長・外部講師)等を通して教師力の向上とサービスの厳正化を図り、サービス事故の未然防止を徹底し、学校への信頼を維持する。

## (8) 学校施設管理と学校事務の充実

- ① 教員の指導のもと、全生徒の清掃活動により、行き届いたきれいな環境の中で日々の教育活動が行えるようにする。  
また、日頃から各教室や特別教室内の整理整頓を心がける。
- ② 過去の重要な保存文書(デジタルデータを含む)や個人情報・備品等の管理を確実にを行う。
- ③ 日常的に学校施設の安全点検を励行し、異常や破損のあった場合はすぐに教頭に報告し、事務局に連絡して対応する。
- ④ 外来者対応や電話対応には、丁寧な言葉遣いで確実な対応をする。
- ⑤ 年度末反省を生かした予算立てを行うとともに事務局へのヒアリングのもと、無理・無駄のない確実な計画と執行を行う。
- ⑥ 各コースや学年の徴収金は、管理職へ書面にて報告するとともに、管理や適切な執行や精算ができるようにする。遅延している家庭の保護者への連絡・通知等は、事務と連携し担任や学年が協力して行う。私費等の現金は一時的に金庫で保管し、個人での保管は絶対に行わない。
- ⑦ 机上整理を常に心がけ、個人情報の保護を確実にを行う。
- ⑧ 様々な起案文書は、必ず教頭に提出し教頭と校長の承認をとる。

### <日音の教育者としての心構え>

生徒：「学ぶことは 変わること」

教師：「教えることは 変えること」

環境は人をつくる その環境は人がつくる

率先垂範「あ・じ・み・こ・し」

「あ(あいさつ)・じ(じかん)・み(身だしなみ)・こ(言葉遣い)・し(姿勢)」

苦は楽の種 楽は苦の種と知るべし

人の幸福とは？

愛されること ほめられること 人の役に立つこと 人に必要とされること